よこすか市議会だより

YOKOSUKA CITY COUNCIL

No.62 令和８年（2026年）11月18日号（９月定例議会号）



学生インターンシップを受け入れました（3面・8面）
WEBで完全版が見られます

表紙の写真は横須賀総合高校写真部にご協力いただいています。
テーマは「日常の中の横須賀」です。
撮影場所：久里浜海岸

撮影者のコメント

のんびりした横須賀の雰囲気と、横須賀の特色である海とそれを渡る船で表現しました。

横須賀総合高校写真部　１年　伊藤舞衣子さん

〒238-8550 横須賀市小川町11番地　☎046（822）9394［市議会議会局議事課］
横須賀市議会　検索
pd-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp

◇発行　横須賀市議会
◇編集　広報広聴会議

今号の TOPICS

わくわく！

親子議会体験ツアーを開催





議会の役割や仕組みを学びました。

議場や委員会室を見学しました。

８月13日に小学生を対象にツアーを行い、18組48名の親子が参加しました！

シールラリーに加え、参加したお子さんが議員役となり架空の議案を審査する議会体験を行いました。「こども議員」による鋭い質問に議員もびっくり。お子さんの素直な疑問に触れ合える機会になりました。

参加者インタビュー

・今まで知らなかった議会のいろいろな部屋に行けたのが楽しかった。
・議員はまじめで堅苦しい人というイメージがあったが、普通の市民が議員をやっていることが実感としてわかった。
・まちづくりを市役所や議会で決めているとわかった。
・また参加したい。



令和８年９月定例議会 “こんな

総務常任委員会

ワイハート地区への川崎競馬トレーニングセンター移転を検討

市は、令和８年５月、神奈川県川崎競馬組合から打診を受け、衣笠町のワイハート地区への施設移転について協議・検討を進めています。

委員会では、移転による経済効果、緑地保全の考え方や市民への影響等について議論しました。



主な質疑

Q. 近隣住民への臭気対策は。
A. 主な発生源となる厩舎地区を直近の住宅地から最も近い場所でも約700m以上離す計画としている。馬糞は、高速発酵機で処理し、臭気をほぼ生じさせない計画である。
Q. 周辺地域の交通量への影響は。
A. 馬運車の通行は、月に５日間、１日に35台（往復70台）程度。想定通行時間は、川崎までの往路が10時頃から15時頃、横須賀までの復路は18時頃から24時頃で、大きな影響はないものと考えている。

民生常任委員会

高用量インフルエンザワクチンの定期接種化見送り

令和８年10月から定期接種に導入予定であった「75歳以上を対象とした高用量インフルエンザワクチン」は、製造工程上の技術的課題により供給が困難となったとの厚生労働省からの通知を受け、今年度の定期接種での取り扱いを見送ることになりました。

標準量インフルエンザワクチンは引き続き定期接種を受けられます。



主な質疑

Q. 製造工程上の課題が解決した場合、今年度に高用量ワクチンが使用されることはあるのか。
A. 今年度は75歳以上の定期接種として高用量ワクチンの使用はないため、標準量ワクチンを接種していただきたい。
Q. 標準量ワクチンの供給量は確保できる見込みか。
A. 十分な量が確保されている。

今号の TOPICS

市議会の仕事を知る4日間
学生インターンシップ



市議会では、包括的パートナーシップ協定を結んでいる関東学院大学の学生インターンシップを毎年受け入れており、今年は８月３日～６日に行いました。

地方議会や日々の議員の仕事への理解を深めてもらうための研修メニューを設定しました。

インターン生の皆さんは、条例制定や政策形成について学んだり、現地視察を通じて市の事業について理解を深めたりと様々な実習に参加され、アンケートでは「市議会の多角的な側面に触れられる大変貴重な機会となりました」という嬉しい声もいただきました！



詳しくはWEB版８面でご紹介しています！

議論がありました



教育安全常任委員会

災害に負けない横須賀を目指して

災害に備え、市民を守る取組を審査しました。

取組の一つに、三浦半島４市１町の自治体(※)が連携し、防災キッチンカーを購入する民間事業者への費用補助がありました。災害時には、避難所に温かい食事を素早く届けられるようになります。ほかにも、防災トイレカー整備、土砂災害ハザードマップ作成、避難所運営などの取組も審査しました。

※三浦半島４市１町の自治体…横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町



防災キッチンカー

主な質疑

Q．道路寸断により支援に来られないのでは。
A．支援のタイミングは、発災直後ではなく、道路状況が一定程度回復する発災後おおむね１週間以降を想定している。
Q．購入費補助の財源内訳は。
A．総額1,000万円のうち、本市は60万円を負担。他の３市１町は計40万円、国庫支出金500万円、特別交付税400万円である。

都市整備常任委員会

高齢者住宅リフォーム補助金の決算をチェック

この補助金は、高齢者が住み慣れた自宅で長く暮らせるよう、市内事業者に依頼して行う住宅リフォームに10万円を補助する制度です。

人気が高いこの事業の昨年度の内容を審査しました。



主な質疑

Q．実施状況を公表しているがどう分析しているか。
A．台所やトイレなど日常的によく使う水回りのリフォーム需要が高いと考えている。
Q．交付予定件数250件に対し実績が231件の理由は。
A．期間内の工事の未完了、リフォームから建替えへの変更、体調不良による辞退や市外への転居等があり減っている。
Q．バリアフリーを含むリフォームの申請も考えられるが、介護保険での工事との併用はできるのか。
A．対象となる工事を分ければ併用できる。

９月定例議会は決算審査を行いました。審査の流れなどはWEB版７面へ！

一般質問

議員からの質問・提言です


井坂 直
日本共産党


ふじそのあき
日本共産党


菅原恵美子
公明党


大村洋子
日本共産党


髙橋いずみ
自由民主党


泉谷 翔
自由民主党


中川さおり


土田弘之宣
公明党


天白牧夫
一市民


加藤ゆうすけ
一市民


海老あやの
自由民主党


葉山なおし


川本 伸
公明党


堀りょういち
一市民


小林優人
一市民


髙橋英昭
研政会


竹岡 力
一市民


藤野英明


安川健人

９月定例議会は19人の議員が一般質問を行いました。

詳しくはWEB版５・６面でご紹介しています！

CHECK

アンケートにご協力をお願いします！

市議会では、
若者が自分らしく活躍できるまちを目指して市長への政策提言を行います。この素案について、ご意見をぜひお寄せください！

ご意見は二次元コードから！ 12月２日(水)まで受付中！


(公式マスコットカモミー)

審議結果

全会一致で可決・認定した議案

次回の議会スケジュールは
こちらの二次元コードから！
議会への傍聴お待ちしています



議案番号	件名
第82号	令和８年度横須賀市下水道事業会計補正予算（第２号）
第84号	船越保育園移管法人選考委員会条例廃止について
第85号	横須賀市市税条例中改正について
第90号	物品の買入れについて
第91号	市道路線の廃止について

議案番号	件名
第92号	本庁舎本館非常用発電機改修その他工事請負契約の変更契約締結について
第95号	令和７年度横須賀市特別会計公園墓地事業費歳入歳出決算
第97号	令和７年度横須賀市特別会計母子父子寡婦福祉資金貸付事業費歳入歳出決算
第98号	令和７年度横須賀市特別会計公債管理費歳入歳出決算

賛否が分かれた議案

○＝賛成、×＝反対

議員別の賛否については
こちら▶

議案番号	件名	会派					無会派				
		自由民主党	公明党	一市民	研政会	日本共産党	中川さおり	葉山なおし	ひろなか信太郎	藤野英明	安川健人
		14人	7人	5人	4人	3人					
第81号	令和８年度横須賀市一般会計補正予算（第３号）	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
第83号	横須賀市歩行者利便増進道路占用予定者選定等委員会条例制定について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
第86号	保育園条例中改正について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
第87号	重度障害者等福祉手当条例中改正について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
第88号	道路占用条例中改正について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
第89号	都市公園条例中改正について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
第93号	令和７年度横須賀市一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○
第94号	令和７年度横須賀市特別会計国民健康保険費歳入歳出決算	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
第96号	令和７年度横須賀市特別会計介護保険費歳入歳出決算	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
第99号	令和７年度横須賀市特別会計後期高齢者医療費歳入歳出決算	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
第100号	令和７年度横須賀市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○
第101号	令和７年度横須賀市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○
第102号	令和７年度横須賀市病院事業会計決算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
第103号	固定資産評価審査委員会委員選任について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
第104号	教育委員会委員選任について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議員提出議案第２号	議会議員の議員報酬等の支給の制限に関する条例制定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議員提出議案第３号	横須賀市議会基本条例中改正について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○

※議長は、議事を取り仕切る立場から、採決には加わりません。

請願・陳情・意見書

※審査終了とは、趣旨了承又は不了承のいずれかで意見がまとまらなかったものをいいます。

	件名	結果
請願	重度障害者等福祉手当（横須賀市福祉手当）制度の見直しについて	不採択
	日本政府に核兵器禁止条約第１回再検討会議にオブザーバー参加するよう求めることについて	不採択
陳情	浦賀駅前周辺地区活性化事業における浦賀レンガドックの解体を含む代替案の検討について	趣旨不了承
	西浦賀における農地法・都市計画法違反及び崖崩れの放置並びに市役所の不当な対応の改善について	趣旨不了承
	障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援について	審査終了
	配慮ある重度障害者医療費助成施策の実施について	審査終了
	西浦賀における違法盛土・無許可農地転用の放置に伴う行政の私的肩代わり（公金浪費）及び不行為に関する審査・是正について	趣旨不了承
	ＯＴＣ類似薬の追加負担の実施を見送ることを求める意見書の提出について	審査終了
	非核三原則の尊重と堅持を求める意見書の提出について	審査終了
意見書	特別市の法制化に反対する意見書の提出について	可決(賛成多数)

台風第25号に関して

この度の台風第25号による土砂災害により、亡くなられた3名の方に、衷心よりお悔やみを申し上げますとともに、被害に遭われたすべての方々に心からお見舞いを申し上げます。

横須賀市議会では、台風被害に関する補正予算について11月に臨時議会を開催し審議を行いました。

詳細は次号でお知らせします。

「よこすか市議会だより」は75,000部製作し、1部あたりの印刷経費は5.54円（税抜）です。よこすか市議会だよりは、紙へのリサイクルに適した材料〔Aランク〕のみを用いて製作しています。

UD FONT



一般質問



詳しい一般質問の内容や答弁は、市議会ホームページの発言通告・録画中継でもご覧いただけます。

CHECK
発言通告はこちら▶

CHECK
中継はこちら▶

ふじそのあき　日本共産党



放課後児童クラブの学校プールの利用について
Q. 今年から夏休み期間の使用が原則不可となった学校プールを、放課後児童クラブはじめ地域に開放できるように、事業者委託を検討しているか。
A. 団体利用の周知を進め、プール開放に取り組む。
放課後子ども教室の運営状況について
Q. 各校におけるコーディネーター職員の配置は十分か。
A. 児童が多い施設に対して、現状の２名体制から３名体制に増やし、全体の体制についても検討する。
本市における軍需産業の是非について
Q. 軍需産業は横須賀にふさわしくないと、市長がきっぱり述べるべきではないか。
A. 軍事製品の境界線は極めて判断しにくくなってきている。

大村洋子　日本共産党



Q. １年間に４回も火災を繰り返しているGNF－J（内川町の原発燃料製造工場）についての所見は。
A. 企業としての社会的責任を再認識し、市民の安全・安心のためのあらゆる措置を講じるよう強く要請した。
Q. 訪米に在日米海軍関係者が同行した理由、経緯、提案者、決定時期は。
A. 面会の調整や米海軍施設への入門、通訳の支援をしていただいた。提案者と決定時期は、相手方との関係もあるため詳細は差し控える。
Q. イラン戦争当事国の米国訪問は戦争を容認しているメッセージになるのでは。
A. 時々刻々と変化する状況でも、米海軍とパートナーシップ堅持の重要性を確認することが目的であり、十分に熟慮した上で訪米した。

泉谷　翔　自由民主党



福祉人材の確保について
Q. 人口減少社会において既存の人材確保策には限度がある。あらゆる福祉人材の育成・就業・定着などを総合的に支援する独自のプラットフォーム構築について伺う。
A. 根本解決のために新たな仕組みを構築する必要性は強く感じている。国や県の施策とも連動して福祉人材の確保に寄与していきたい。
本市の特徴ある教育の推進について
Q. 本市の特徴を生かした海洋STEAM教育を推進する関係機関と連携し、研究（教材整備や指導者育成）と実践（学校教育への実装）を推進する必要性について伺う。
A. 先の見えないこの時代において海洋STEAM教育は重要だと捉えている。教育委員会とも話し合いをしながら該当研究機関と連携していきたい。

土田弘之宣　公明党



災害対策
Q. 酷暑下の車中泊避難支援策や受援計画の状況は。
A. マニュアル等を整備中で事前指定も検討、年内に受援計画暫定版作成
特別市制度
Q. 県内政令市の特別市移行による市への影響と対応は。
A. 県税収減で補助金削減等の懸念があり明確に反対
教育環境
Q.「誰も一人にさせない学校」の具体化と教員の時間の余白創出策は。
A. 支援教育等を推進。AI活用や教育課程見直し等で時間を創出
鉛給水管
Q. 鉛給水管の解消計画と市民の費用負担軽減策は。
A. 令和20年度の完全解消に向け、物価高を踏まえ補助金水準を検討
市営駐車場対策
Q. 出庫渋滞が深刻な市営駐車場へのカメラ式導入は。
A. 不入斗公園へ令和９年度導入予定、文化会館等も順次検討

井坂　直　日本共産党



長沢村岡公園プールの存続を
Q. 津久井小と北下浦小が水泳授業で使う村岡公園プールの継続を求める利用者の声がある。プール存続の検討を行ってはいかがか。
A. 次のFM戦略プランの検討では、情勢が変化していること、例えば学校のプールの授業をどうしていくかということも踏まえて、またそれは議論して方向性を出していく。
横須賀市独自の災害対応の強化を
Q. おおむね10年に１回の確率で発生する市が定めた降雨量は、66.4ミリだ。浸水対策を進める上で、数値を再検証する必要は。
A. 数値の検証の見直しは難しいが、他都市等の情報も収集、分析し、関連部局や関連機関とも連携しつつ、現計画の中でできる柔軟な対策を進めていく。
特定利用港湾について

菅原恵美子　公明党



学校給食センターを活用した不登校児童生徒の居場所づくりについて
Q. 学校給食センターを活用し、不登校児童生徒が給食を通じて人や社会とつながる機会をつくってはいかがか。
A. 不登校児童生徒が社会とつながるきっかけとなる居場所づくりは必要である。給食センターの活用も方策の一つと考えており、試行的な実施に向けて具体的な課題の整理から始める。市内４か所の校外教育支援センターで給食を提供しているため、その活用も含め、子どもたちにとってより良い形を検討・実施していく。また、必要な家庭への周知も図る。
児童生徒の登下校時の暑さ対策について
妊婦の子宮頸がん検診における受診機会の確保について

髙橋いずみ　自由民主党



若者支援政策について
Q.「相談するために行ったわけではないけれど、そこに行ったら話せる人がいた」と思える居場所兼相談拠点の整備と、「カフェ型ユースクリニック」をモデル事業として実施することについての考えは。
A. 若者のニーズや利用しやすい環境を把握しながら、まずは拠点の設置に限定せず、若者が日常的に利用する場所を活用した出張型の実施も含め、他自治体の事例や若者のニーズを踏まえながら、民間のノウハウを活用し、横須賀市に最適な展開手法について検討していく。
妊娠初期における子宮頸がん検診について
診療報酬改定に伴う救急医療センターへの影響について
連携協定による地域課題の解決について

中川さおり



思いやり予算の特別協定
来年度は５年毎の改定期。国に対しての働きかけは。市民の雇用機会の場として基地での就業を進めては。
追浜日産工場の生産終了後
米国軍事企業進出の報道を受け、市の方針は。
JR田浦駅北口昇降機設置
市民生活向上のほか、防衛施設へのアクセス向上を切望する市民の声に、市はどう対応するか。
市長としてのコンプラ意識
市立病院に救急搬送された高齢者が、施設内居座りを理由に警察署で長期留置された際の対応、市庁舎内で発生した不正事務事件の対応など、市長としての問題認識
市政策アドバイザー任用
広報関連委託事業を請負う電通社の社員が、市長付政策アドバイザーを兼任。健全な取引であることを市民に説明できるか。

天白牧夫　一市民



Q. ハイキングコースの崩落リスクが高まる可能性と予防は。
A. 境界未確定地での管理は困難だが、ハイキングコースとして指定している以上、市に安全を担保する責任がある。
Q. 街路樹の特性に応じた計画的な剪定の必要があるのでは。
A. 全体の２、３割しか１年間に剪定等できておらず、道路空間を確保しようとすると強剪定にならざるを得ない。
Q. 歴史的建造物を地域の共有財産として残していく施策の拡充については。
A. 様々な文化遺産の所有者にはどんどん連絡をいただき、ネットワークを築きながら検討したい。
Q. 万代会館を適切に維持管理することについての考えは。
A. 万代基金の額も限られており、地元の思い入れのある方に心を込めてやっていただける形が一番美しい。

加藤ゆうすけ　一市民



こども性暴力防止法（日本版DBS）対応準備状況
Q. 市の指定管理施設や委託施設は認定取得が義務ではないが、同法に積極的に対応しては。
A. 他の事業所に率先して法を遵守する立場を示すために、認定取得を求める。
障害児福祉について
Q. 民間連携も視野に入れ、障害児の学習サポート体制を整えるべきでは。
A. 教育と福祉の制度の狭間で支援を受けられない子供を生まないよう、研究を進める。
夏季の震災時避難所へのペット同行避難
Q. 猛暑下、各震災時避難所での校庭設置の同行避難ペット飼養スペースでは対応不可能では。
A. 避難所内の空調のある屋内設置可能という柔軟な運用を判断できるよう、マニュアルの記載を見直す。

葉山なおし



高齢化社会が及ぼす商店街の現状と課題影響について
Q. 小売り個人商店の存続危機については。
A. 課題感を持って取り組んでいる。アンケート調査を実施し、地域住民のニーズに応え課題解決に取り組む。
地域包括支援センターについて
Q. 包括的な業務委託契約の実施は。
A. 福祉事業は４年前に改組を行い契約形態が３年間にわたり毎年変更してきた。今後はご指摘のとおり包括的な契約形態を模索する。
観音崎自然博物館について
Q. 市内小学生の利用拡大については。
A. 割引制度を検討し集客増加に努めたい。
教育環境の現状と課題について
Q. 校務システムの運用イメージは。
A. DX化を推進し入学から卒業まで全校統一で管理できる体制を整えたい。

堀りょういち　一市民



人とペットが共に安心して暮らせるまちへ
Q. ペットを手放す相談の約半数は、飼い主の死亡・高齢・病気が理由である。背景には困窮や孤立も重なる。動物の担当と福祉の担当がつながらなければ、どちらの困りごとも手遅れになるのではないか。
A.「もしも」への備えを伝える啓発チラシを作成中。支援者と連携して高齢の飼い主本人に届けるなど対策を講じる。
公共施設の断熱化の推進
Q. 市はすべての学校体育館に空調を入れるが、断熱されている体育館は一つもない。電気代や環境負荷が大きくなるのを避けるためにも断熱化を進めるべきでは。
A. どの体育館から断熱の効果を検証するか、長期的な進め方の検討をすぐに始めたい。

髙橋英昭　研政会



民泊の適正な管理と今後の戦略的な活用方針について
Q. 住環境保護やトラブル防止へ新たな規制導入や独自条例の準備は。
A. 直ちに必要とは認識していないが、実情に即した規制のあり方を研究する。
ICT・デジタル化・AI導入支援のあり方について
Q. 社会福祉法人や放課後児童クラブ等へ支援対象を拡充すべきでは。
A. ニーズを聞き、対象法人の拡大を検討・調整する。
学校統廃合の準備業務における諸課題について
Q. 教職員へわかりやすい情報共有と追加の業務支援を行うべきでは。
A. 説明会等で情報提供を強化し、負担軽減へさらなる支援策を検討・実施する。

藤野英明



（仮称）横須賀市ケアラー支援条例の制定について
Q. 条例の基本理念は。
A. 支援対象として認識されにくかったケアラーにも焦点を当て、ケアラー自身も尊重される社会を実現する。
Q. ケアを受ける本人もケアラーも双方を守るべきではないか。
A. ケアラーの権利も守ると市として宣言するために条例をつくる。双方の権利や立場を守りつつ、個別の状況に応じて支援を調整する。
Q. 相談を待たずに支援につなぐべきではないか。
A. 表に出てくる方はほんの一握り。教育委員会や他部局の力も借り、見落としのない効果的な支援を目指す。
Q. 条例の実効性は。
A. 実効性の確保は欠かせない。条例への記載や施策の連携を検討する。

海老あやの　自由民主党



Q. 防災イベントの開催について
A. 防災イベントは大変有効、民間事業者や関係機関・団体、防災士などの協力を得て、その内容がより魅力的になるように企画し、実施してみたい。
Q. 市立学校で防災教育の一環として備蓄米を食べる取組について
A. すべての学校で取り組むことができるよう条件整備をしてまいりたい。
Q. 職員・学校関係者等を対象とした携帯用トイレの設置訓練について
A. 携帯トイレスタートキットの配置とあわせ、関係する全職員及び、学校職員への研修を行う。
Q. 災害廃棄物のゼロ次仮置場について
A. 市職員が主体となり、公園等を活用して、管理運営を行うよう見直す。

川本　伸　公明党



児童養護施設における職員の増員に対する補助制度の創設について
市立病院におけるサイバーセキュリティの強化について
農家の経営安定に向けた新規転換作物の導入支援について
Q. 新規転換作物が生産ベースに乗るまで経済的な支援をしていただきたい。
A. 作物ごとに柔軟に考えていく。
長井地区における台風等荒天時の漁船避難対策及び避難港機能の整備について
Q. 漁船が安全に避難できる施設の整備や既存漁港施設の改修・機能強化に向けスピード感をもって取り組んでいただきたい。
A. 近年、気象状況が変化しているため、既存施設の機能強化を含めてスピード感をもって進めていく。

小林優人　一市民



聴覚障害者の社会参加の推進について
頭部保護帽の給付制度について
小学校区ごとの地域情報の活用について
頭部保護帽の給付対象要件の見直し
Q. てんかん発作による転倒の危険性がありながら、障害名や等級により給付対象外となる方がいる。対象要件を見直し、医師の診断等を踏まえて個別に給付を判断できる仕組みを設けるべきではないか。
A. 現行基準では対象外となる方がいることを認識している。より現状を踏まえた給付ができるよう対象要件の拡大を検討する。併せて、対象要件を拡大しても対象外となってしまう場合は、医師の診断書等で、個別に給付の可否を判断できるよう検討する。

竹岡　力　一市民



夏休み期間中の学校プールの在り方について
Q. プール開放について、実態と異なる市長答弁があったがなぜか。
A. 市長部局と教育委員会の職責によるすれ違いが生じた。十分な確認がないままの答弁になってしまい、お詫びしたい。
Q. 来年度以降、放課後児童クラブ等が自ら管理できるのであれば、利用ができる運用に改めるべきだと思うがいかがか。
A. 課題を解消し、可能な限りプール開放を実施できる方策を考えたい。
公共施設の空きスペースについて
Q. 空きスペースを活用してキッズスペースを設けてはいかがか。
A. 市役所本庁舎に授乳やおむつ替え等ができるベビーケアルームを設置し、マイナンバーカード交付窓口の動線上に、キッズコーナーを設置する。

安川健人



気候変動を危機管理上の重要課題として捉え、「緩和」と「適応」を両輪で進めることについて
「横須賀防災スポーツフェス」の開催について
ポータブル電源・ソーラーパネルの普及支援について
Q. ポータブル電源等を「新しい防災備蓄」と位置づけ、購入支援を含む普及策を検討してはどうか。
A. 非常用電源は在宅避難に有効であり、防災・環境の双方に資するものである。先行自治体を研究し、本市で何ができるか検討していく考えである。

なるほど 決算審査



なぜ９月定例議会の「決算審査」がとっても大切なのか？

前年の政策を結果や数値で確認し、税金の使われ方を厳しくチェック！



決算って？

1年間で「いくら入り、何にいくら使ったか」をまとめたもの。



決算審査の2大ポイント

1 お金の使い方を見る！

使ったお金は予定どおり？
➡**予算執行状況**

使わなかったお金は？
➡**不用額（残ったお金）**

市の借金は増えていない？
➡**市債（市の借金）**

2 事業の中身と成果を見る！

計画したことはできた？
➡**成果説明**

市民の暮らしは良くなった？
➡**市民への効果**

数字だけでなく、「役に立ったか？ 必要だったか？」という視点で確認します。

審査結果を「次の予算審査」へしっかり反映！



決算結果を踏まえて、新規・拡充事業の必要性、費用対効果、そして予算の裏付けを確認！
予算審査は決算時の議論を基にきちんとチェックします。

決算審査の流れ　各部門の役割

議会を代表して2名の議員も監査委員として加わっています

会計機関
［会計管理者］
●決算の調整



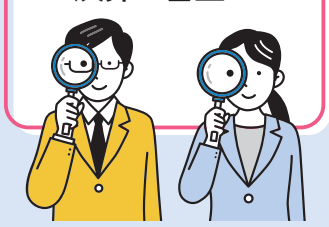
①決算書及び付属資料の提出

執行機関
［市長］
●決算の公表
●事務事業等の総点検票の作成



決算審査の依頼 ②
③ 決算審査意見書の提出

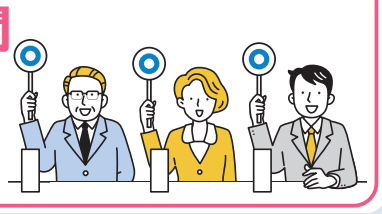
監査機関
［監査委員］
●決算の審査



決算の認定にかかる議案の提出 ④
決算関係書類の提出
⑤ 議決の結果



議決機関
［横須賀市議会（決断の場）］
●決算の審査及び認定



事務事業等の総点検

決算がわからなければ、予算はわからない。
決算がわかれば、予算がわかる！



関東学院大学との包括的パートナーシップ協定に基づく取組

大学生が体験！ 横須賀市議会インターンシップ



実習報告

令和８年８月３日から８月６日までの４日間、関東学院大学の学生５名を対象に横須賀市議会インターンシップを実施しました。議会局における市議会概要説明・業務実習に加え、**自由民主党・公明党・一市民・日本共産党・研政会の５会派**がそれぞれのテーマで学生を受け入れ、政策形成プロセスやフィールドワークを通じて、地方議会の役割と機能を体系的に学ぶ機会となりました。

会派・受入先ごとの活動概要

１日目　議会局

●テーマ●

議会運営のしくみ

議会局職員から市議会の組織・運営について説明を受け、本会議が開かれる議場を見学。議会局での実務を体験しました。



２日目　午前　自由民主党

●テーマ●

政策立案と条例制定

議会が政策を立案し、条例を制定していくプロセスを具体的な事例を交えながら学びました。



２日目　午後　公明党

●テーマ●

まちの未来を考えよう

追浜駅前再開発を題材に、議会が政策形成過程で果たす役割と機能を検証しました。



３日目　午前　一市民

●テーマ●

現場視察による政策理解

動物愛護センターとサマークラブ（夏季休業児童一時預かり事業）を視察し、行政施策の実施現場を確認しました。



３日目　午後　日本共産党

●テーマ●

市民ニーズの把握手法

長沢村岡公園プールで利用者アンケート調査を実施し、市民の声を政策形成に反映させる手法を体験しました。



４日目　午前　研政会

●テーマ●

廃棄物処理行政の実際

ごみ処理施設エコミルを見学し、本市の廃棄物処理行政のしくみへの理解を深めました。



参加学生の声「インターンを終えて」

- 真剣に市民の声を反映しようとする議員の姿を見て、より選挙に行こうと考えるようになった。
- 市民と議会をつなぐフィールドワークの重要性を学ぶ重要な機会となった。
- 現場の意見や「市民の声」を収集する難しさとその重要性を体感した。
- 各会派の視点は異なっても、横須賀市を良くしたいという共通の情熱を感じた。

議会は、市民生活と密接に結びついた政策形成の現場です。

本会議は公開されており、どなたでも傍聴できます。関心を持ったことを、まちを知る一歩にしてみませんか。